

## 意見交換会実施報告書

開催日時	23年11月10日 18時30分～20時30分
開催場所	八坂支所
出席議員	竹村 武人（責任者、報告者） 荒澤 靖（司会） 眞嶋 強志（記録者） 和田 俊彦（記録者） 平林 英市 小林 治男
参加市民数	27人
議会報告内容	平成22年度決算報告
意見交換内容 (要望提言等)	<p>質問1 支所の耐震改修は来年やるということだが、他の八坂地区の事業はどうなっているか。</p> <p>回答1 耐震改修工事と前々から要望のあった、調理室の改修を合わせて4,500万円程度の内容で平成24年度の予算要求になることが予想される。</p> <p>意見・要望1 財政は厳しいが地域振興のために、なるべく特例債や過疎債を利用して事業をやってもらいたい。</p> <p>意見・要望2 地域振興住宅が13個あるが2,3個が空き家になっている。入居条件で家賃の3か月分の収入がないと入居できない。1ターン者は、都会では相応の収入を得ていたが、こちらに来て住宅を探すときは、ほぼ無収入の状態である。そのため入居できない例もあり入居条件の緩和を行えばどうか。また、空き家を斡旋しているが、空き家はリフォームしなければ住めない。リフォーム中は市営住宅入居が出来るようにすればどうか。</p> <p>意見・要望3 今年の春から支度金として定住促進奨励金が20万円出るようになったが、リフォーム補助金が開始となったことを踏まえ、助成金額を増やせないか。</p> <p>質問2 会派は同志の集まりだと思うが、勉強会や市政の検討をしながら集まっているのか、会派の根本的なことを説明してください。</p> <p>回答2 会派構成をしていない市が長野県下19市中2市である。大町市議会は、虹と緑の会、共産党、市民クラブ、民声クラブ、政友クラブの五つの会派がある。それぞれ勉強し、いろんな活動をしている。考えの似通った人が集まって、いろんな学習会をし、で</p>

きるだけ市民要求を市政に反映させようと考えている。

質問 3

会派にホームページはあるか。

回答 3

議員個人でホームページを作成している人はいるが、会派ではない。

質問 4

議会だよりについて、市立大町総合病院で請求漏れが 268 万円と書いてあったが、保険請求時に却下された分であるから注釈をつけてもらわないと、一般の人から見れば誤解を受ける書き方だ。

回答 4

議会だより編集委員会が議員個々作成の原稿によって作っている。文章の長さに制限があるため、うまく伝わらない面もあり、今回は誤解を受けているように思える。現在、どのような対応とするか議会だより編集委員会で検討している。

質問 5

ごみ処理施設について、三日町の問題を今後どうするのか。生ごみの八坂の施設についてどう思っているのか。

答弁 5

感情論の中で、住民の皆様の理解を得られなかった。今後も広域で焼却場建設に向けて努力していくこととなる。

生ごみを資源として活用できるので、活用していくべきではないか。

意見・要望 4

広域の中でしっかり議論をして、将来的に困らないようにしてもらいたい。生ごみ堆肥化施設についても、成分等の問題もあり不安であったが、いろんな条件を考えた中で少しでも役に立つのならと承知した。そのことを理解してもらいたい。

回答

広域議会の特別委員会の中では、小谷、白馬の委員から、施設建設を広域で続けてほしいという話があった。大町市議会の中ではまだしっかり話し合われていない。山下地区との契約があるので、時間は残り少ない。しかし、現実には厳しいものがある。生活に直結したものであるからがんばりたい。

質問 6

広域議会は何をしていたのか。候補地が決まった時点で、その地域の承諾を得ていないことなど考えられない。今の状態で次を選んでまただめになるのではないか。私たちのところへどうぞという地域を見つけることは至難の技だ。広域議会として、平成 27 年までに候補地を見つけて建設に着手するという考えで進

めているのか、あるいは三日町を説得するのか。広域議会の決意を聞かせてください。

回答 6

白馬村での失敗を反省し、今回は公開をして候補地を選んだ結果、三日町が適地となった。

三日町は住民投票をして、反対多数で受け入れないと結論づけたが、21,000人の中の256人の意見が住民の総意であるとは考えにくい。住民投票も法的な根拠はなく反対の理由に根拠がない。

意見・要望 5

生ごみの施設について、視察なども行い、しっかり作れば問題ないと思われる。地区住民の感情も議会として汲んで頂きたい。

回答

来年度施設の改修をしていくという話ですが、生ごみの処理量が増えるという計画があるわけで、そのことの心配をされておると思いますが、ごみの分別や急激な処理の増大を招かないよう行政にもお願いをします。

質問 7

牛糞堆肥は好評でよいことだ。学校給食の残飯の処理の一時は松川村にある施設で処理され二次処理を八坂で行っている。これを学校だけでなく温泉郷ホテルの生ごみも持ち込んで、一時処理から八坂地区にて行おうとしていることを議員は分かっていない。1日の処理量を1トンにしたいという話が地域づくり協議会に来ている。このことは、八坂地区と市だけの話で、議会もそのほかの市民も知らないのではないか。

答弁 7

処理の仕方は知らなかった。堆肥化はよいことだと思った。有機肥料はよいことだと思うので、しっかりやればよいことだと理解していただいたと思っています。

意見・要望 6

合併後、八坂地区には議決機関が無くなった。地区の議員も居なくなったので、地域づくり協議会がその役目をすべて負っている。ボランティアの団体なので、その負担は大きい。議会もこの地域に関心を持ってもらい一緒に考えてもらいたい。

質問 8

メガソーラーが新聞に載っていた。東電、関電に頼りすぎと思われる新エネルギーには、もっと積極的であるべきだ。議会内から議論が出てこないのか。

答弁 8

議会全体で質問も出ている。ただ、莫大な経費が必要となる。市と東電でそれぞれ小水力発電をしている。市も2億円ほどかかった。後の維持を考えると市単独では難しい。補助金があればいい

いが。東電には技術者がいるが市は技術者を雇用しなければならない。

#### 意見・要望 7

確かに投資に見合う収益を得られないことは分かっている。売電価格が安すぎる。50円になればペイできる。もっと夢を語ってほしい。

#### 回答

分かりました。水力や風力がある行政の答弁で大町市の半分は無理である。雪で太陽光は無理、風は大町の風では無理と思われる。自然エネルギーは夢とかね合わせて考えていければいいですね。災害時に必要な防災無線の非常用電源であるとか、避難場所になっているところに携帯用の充電システムを整備することは、投資に見合う改修を考えなくてよいのではないかと。

#### 意見・要望 8

通学路の街路灯などは可能なのではないかと。

#### 意見・要望 9

人口減少が地域の形成の上で障害になっていく。学校、保育園等が課題となっていく。学校・保育園がなくなれば地域崩壊につながる。対策として、空き家対策や定住促進住宅などがあるが、経費の面で簡単ではない。経費の面の助成を頼みたい。地域づくり協議会としても積極的に取り組んでいく。議会の理解も必要だ。

#### 回答

十分に理解しています。大町市全体にいえることでもある。国勢調査の結果が出たが、長野県19市の中で、大町市が人口減少率、高齢化率とも一番高い。市全体で学校がいくつあればいいかということだ。それを考える時期に来ているのではないかと。

大町市全体で考えるべきだ。これからも両地域に住み続けようとする人たちの気持ちも大事にしなければならない。平地区には何も無い、スクールバスに乗るのに一時間半かかる子供も居る。だから、市全体で考えるべきではないかと。

現状の教育環境は、保育園があり、小学校があり、中学校がある。しかし今の教育は、多種多様化している。例えば小中一貫教育であるとか、保育園から中学校までとか、中高一貫教育であるとか、いろんな教育環境が出来ている。市に特色ある教育環境を作っていくことによって、特別な教育環境に魅力を感じてくる人がいたり、そういう環境だから援助が得られることもある。学校の存続の可能性が出てくるかもしれない。知恵の絞り方ではないかと。今までの枠組みではなく、独創性が必要と思われる。

#### 意見・要望 10

山村留学OBから、協力の申し出がある。八坂、美麻両地域は、学校、家庭、地域のバランスがよくとれている。小規模校の特色

	<p>を活かした教育が出来る地域である。その魅力で、外からの人の流入も見込めるのではないか。そういう意味ではOBから、八坂、美麻両地域の力になりたいという申し出がある。人材の掘り起こしという面で力になってくれそうだ。これまで教育と観光は別に考えてきたが、これからは、両者をつなげる媒体を作ることも視野に入れてはどうか。いろんな面で協力を惜しみません。</p> <p>山村留学生の受け入れは、八坂の環境がベストである。市内の環境では少し無理がある。</p> <p>回答</p> <p>ご意見は承知をしている。マンパワーの活用が大事である。活躍できる場を作っていくことが大切である。学校の規模で統廃合したらどうかという意見もある。まずは地域振興策を出していく必要があるだろう。しかし、学校の存続は大変憂慮すべき時期に来ていることも否めない事実である。いろんな方向からの議論が必要である。</p> <p>山村留学については、多くの人的交流があることは承知をしている。学校は存続できるよう努力をしていきたい。地域の活性化も、なかなかうまくいかない。高齢者に対する福祉も重要なので、そちらにも力を入れたい。</p> <p>意見・要望 1 1</p> <p>高齢者によるパソコンクラブを立ち上げたが、機材が古く使いづらい、もう少しよいものに交換してもらえないか、情報センターまで通えないので、数台用意してもらえないか。インターネットの接続の勉強をしたい。情報時代に合わせた環境がほしい。八坂や大町市のホームページを見れるようにしたい。</p> <p>クラブは8から10人で月に二回、公民館にて活動している。</p> <p>意見・要望 1 2</p> <p>合併特例債は、平成の大合併で大きくなった自治体が、地域間の生活基盤の格差を埋める施設整備をする目的で作られた。実際は中心部の大規模施設の建設費に当てられている例も多く、趣旨にそった使い方をされてきたとはいいいがたい。発行期限を延ばすなら、使い方を再考する必要がある。もう一度地域の課題を点検してもらいたい。思いやりの気持ちで、大町市も課題の点検してもらいたい。</p> <p>特例債、過疎債を積極的に使ってもらいたい。こんなときこそ、投資をしてほしい。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成23年11月30日

政策調整委員会委員長 様

上記意見交換会責任者 竹村 武人 印